

『史記』を読む

こうう

りゅうほう

9月2日

受付開始

項羽と劉邦

始皇帝は中国最初の統一王朝を築きあげたが、その政治はあまりに専制的であったため、始皇帝の死後、各地で反乱が起きた。反乱軍の中でも代々楚の将軍を務める家柄の出身である項羽と、庶民の出身であり後に漢の高祖となる劉邦の二人が最も有力であった。

司馬遷の書いた『史記』の中でも最も有名な「項羽本紀」を読みます。

(令和7年)

(令和8年)

11/27、12/4・11・18・25、1/8

木曜 全6回 14:00～15:30

全6回分受講料 3,000円 (税・資料代込み)



講師 かげやまてるくに

影山輝國 氏

(実践女子大学名誉教授)

【会場・お問合せ】

あげお富士住建ホール
(上尾市文化センター)



048-774-2951 (9:00～18:00)

住所 上尾市二ツ宮750 (JR高崎線「上尾駅」東口から徒歩15分)

【主催】 あげお文化創造パートナーズ

1

若き日の両雄

項羽と劉邦の
若き日のエピソード

2

鴻門の会
(両雄会見)

劉邦の軍勢は10万、項羽の軍勢は40万。劉邦は鴻門に項羽を訪ね、逆らう意思のないことを釈明する。

3

鴻門の会
(樊噲登場)

劉邦の実力を見抜いた項羽の軍師范増は、この機会に劉邦を亡き者にしようとするが、劉邦の臣下樊噲がそれを防ぐ。

4

宮殿放火

項羽は秦の都に火を放って、故郷の楚へ帰国する。

5

四面楚歌

項羽と劉邦の戦いは4年に及ぶが次第に勢力を増した劉邦が垓下で項羽の軍を包囲する。

6

項王の最期

項羽の武人としての見事な最期。多くの読者が涙した名場面である。